

平成25年度離島漁業再生支援交付金による取組概要（大島）

1. 集落協定の概要

都道府県名：大分県
市町村名：佐伯市
協定締結集落名：大島漁業集落
交付金額：4,216千円
協定参加世帯数：31世帯（うち漁業世帯31世帯）

2. 協定締結の経緯

佐伯市大島周辺の海域は、典型的なリアス式海岸であり多数の天然礁を有する佐伯湾、天然礁回遊魚の漁場を多く有する豊後水道に面しており、良好な自然環境に恵まれている。地元漁業者は主に一本釣漁業を営んでおり、マダイ、イサキ、ブリ類を主な魚種として漁獲している。大島周辺の浅場は、水産資源の幼稚仔の育成場としても重要な役目を担っている。これまで、地元漁業者がこれらの海域環境を適切に管理することにより、これを保全するとともに周辺水域の有効利用を図ってきた。

しかしながら、漁業が基幹産業である佐伯市大島地区においても、漁業者の減少や高齢化が進んでおり、このまま放置すれば、大島地区の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も低下する可能性がある。

このため、大島地区は、漁業の基盤となる漁場の保全や利用に関する集落での話し合いを通じて集落機能を再編し、必要な場合には既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組める環境を整えるとともに、漁場環境の保全活動を継続的に実施する必要があることから、その取組の継続を下支えするために離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

海岸清掃により漁場環境の保全に努めた。

活動内容	実施日	数量	経費（円）
海岸清掃	9月16日（1日）	参加者 19人	152,000
	10月20日（半日）	参加者 19人	76,000
	10月26日（1日）	参加者 24人	192,000
	11月5日（1日）	参加者 20人	160,000
	11月9日（半日）	参加者 20人	80,000
	小計	延べ 102人	660,000
	軽ダンプリース	1台（5ヶ月）	250,000
	海岸清掃用備品・消耗品購入	一式	90,600
合計			1,000,600

種苗放流により資源の維持、増大を図った。

		放流数	サイズ (mm)	経費 (円)
種苗放流	イサキ	52,381尾	69	1,728,000

②集落の創意工夫を活かした新たな取組状況

流通改善用生け簀を活用し漁獲物の出荷調整を行った。

4. 取組の成果

①種苗放流については、地元漁師が漁獲する主な魚種であるイサキの放流を平成22年度から行っているため、その効果もあってか本年度のイサキ水揚げ量は前年度よりも多かった。今後も引き続き実施することにより、水揚げ金額の増大が期待されている。



イサキ種苗放流(H25.9.12)

②台風等の影響により、大島海岸に大漁に漂着したゴミを回収したことにより、流木等の漁船との接触や、漁業の操業休止等を防止することができた。また、前年度及び前々年度に設置したゴミ回収用ユニックと軽ダンプ（リース車両）を活用することにより、迅速に回収作業をすることができた。



漂着ゴミ回収(H25.10.20)

③流通改善用生け簀を活用し出荷調整を行うことで、漁獲物の大量出荷による魚価の低下を防ぐことができた。



流通改善用生け簀